

特定(産業別)最低賃金が決定

新潟県の最低賃金が10月1日から931円となったことに続き、特定(産業別)最低賃金も下記のとおり決定しました。

▼新潟県最低賃金

適用の範囲	最低賃金額〔時間額〕 (前年比)	効力発生日
新潟県内に働くすべての労働者に適用	931円 (+41円)	2023年10月1日

▼特定(産業別)最低賃金

適用業種	最低賃金額〔時間額〕 (前年比)	効力発生日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具、製造業 (電球製造業及び電気計測器製造業を除く)	1,005円 (+40円)	2023年12月27日
自動車(新車)、自動車部品、附属品小売業	997円 (+36円)	2023年12月20日
各種商品小売業 (衣衣食住にわたる商品を小売りする百貨店、総合スーパー等)	932円 (+90円※)	2023年12月30日

※2019年以降は842円から改定がなかったため、12月29日までは地域別最低賃金931円が適用
*適用除外業務などのお問い合わせは、
連合新潟、新潟労働局賃金室、最寄りの各労働基準監督署まで

みんなで賃上げ。 ステージを変えよう！

2024春季生活闘争スタート

12月7日に行われた労働条件委員会での闘争方針の議論から、連合新潟の2024春季生活闘争の取り組みが本格的にスタートしました。

今年闘争は、2023春季生活闘争が約30年ぶりとなる高水準の結果となったことをふまえ、継続的な「人への投資」は必要不可欠であることから、連合本部が前年を上回る5%以上の賃金要求指標を示しました。

社会的にも賃上げの機運が醸成されつつある中で、今年春季生活闘争は経済、賃金、物価が安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場ともいえます。



第1回労働条件委員会で論議

2024春季生活闘争へ向け 経営分析セミナー を開催

11月25日、勤労福祉会館で経営分析セミナーを開催し、連合新潟各加盟組合から30名が受講しました。

本セミナーは、来る2024春季生活闘争へむけた学習会の位置づけとして企画しました。

講師には、日本生産性本部より黒田和光氏をお招きし、財務分析の手法等について、基本から応用まで幅広くご説明いただきました。

講義の中ではもちろん、休憩中や閉会後にも多くの参加者から質問・確認があり、講義に臨む個々の表情からも充実感が伺えました。

参加者からは、「非常に勉強になった。しっかりと復習して2024春季生活闘争の交渉に臨みたい。」との声も聞かれ、あらためて本セミナーの開催意義、重要性が感じられました。

まもなく2024春季生活闘争が本格的にスタートします。本セミナーで得た知識を交渉の中で十分発揮し、昨年以上の賃上げを実現しましょう。



黒田講師より熱心な説明



小林会長はあいさつで、前日に行われた本部中央委員会での連合芳野会長からの「活動の継続も大事だが、新しいことへのチャレンジを！」との話が紹介されたように、連合新潟も地協の仲間とともに、新たな気持ちで県内で働く仲間のために地域運動に取り組んでいます。

!!! みんなで賃上げ。 ステージを変えよう!



当面の取り組みについて協議しました

今年も新潟労働局との 懇談会を開催

11月21日、新潟市内で、新潟労働局と令和5年度地域産業労働懇談会を開催しました。新潟労働局からは、「NIGATA(にいがた)Niji(にじ)Workプロジェクト2023」の説明を受けました。

これは、労働行政の中の「若者の人材確保等」「多様な人材の活躍促進」「職場の健康確保」「職場の安全確保」「誰もが安心して働ける職場環境づくり」「働き甲斐と誇りの持てる処遇改善」「障がい者の就労支援」の7つの取り組みを総合的にまとめたもので、新潟(にいがた)で自分(じぶん)らしく働き、暮らし輝くことをめざして新

連合新潟は今後も県内で働く者の立場と視点で労働行政への意見反映を続けていきます。



新体制での最初の懇談会

12月2日、新潟市内で各地域協議会の代表者と副会長の出席による2024年度第1回地協代表者会議を開催しました。年度はじめということもあり、会議では連合新潟の専門委員会委員登録や、「組織拡大・強化の取り組み」「2024春季生活闘争の取り組み」

地域活動の深化をめざす

「連合・愛のキャンパ」「第50回衆議院選挙にむけての対応」など、この先の地協運動にかかわる事項を確認し合いました。

今秋の各地協の定期総会で議長が3人、事務局長が2人交代しています。また今回の改選で、初めて女性の地協議長と地協事務局長が就任しました。会議冒頭、小林会長のあいさつで、前日に行われた本部中央委員会での連合芳野会長からの「活動の継続も大事だが、新しいことへのチャレンジを！」との話が紹介されたように、連合新潟も地協の仲間とともに、新たな気持ちで県内で働く仲間のために地域運動に取り組んでいます。

2023年末一時金 連合新潟第2回集計結果

(12月5日現在)

<年末一時金 回答・妥結集計結果>

昨年との比較が可能な組合の集計結果

※年間妥結の年末分および年末(今季)回答妥結組合の総計

額 集 計: 80組合 (13,391人)

月数集計: 95組合 (16,309人)

◎組合員1人平均(加重平均)

額: 530,800円 月数: 2.15ヶ月

昨年 額: 526,611円 月数: 2.04ヶ月

(昨年との差 額: +4,189円、月数: +0.12ヶ月)

◎組合平均(単純平均)

額: 445,556円 月数: 1.95ヶ月

昨年 額: 424,640円 月数: 1.81ヶ月

(昨年との差 額: +20,916円、月数: +0.14ヶ月)

☆調査対象組合360組合(73,549人)中、168組合(44,407人)が回答妥結した。(年間妥結の年末分含む)

<年末一時金 要求集計結果>

【額集計】

業種別	集計組合		組合員1人平均 (加重平均)	組合平均 (単純平均)
	組合数	人員	金額	金額
計	70	12,038	622,202	545,433

2022年同時期 610,631

539,423

【月数集計】

業種別	集計組合		組合員1人平均 (加重平均)	組合平均 (単純平均)
	組合数	人員	月数	月数
計	103	15,692	2.34	2.21

2022年同時期 2.33

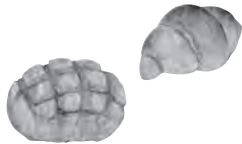
2.25

2023年度連合・愛のキャンパ

助成支援が決定した県内5団体のうち
今月は「フードバンクさと」をご紹介します。

○フードバンクさど（助成回数：初）

助成金額30万円
佐渡市金井神保乙1636-1
代表 平田 緑



～団体からのメッセージ～

先日は2023年度「連合・愛のカンパ」の助成をして頂きありがとうございました。

2020年5月発足以来、新潟県フードバンク連絡協議会に加盟しサポートして頂いてます。

佐渡島内で暮らす、ひとり親家庭、生活困窮世帯、障がい者世帯など180世帯（子供の人数350人）を対象に、毎月一回の食品配布会を開催し、スタッフ、ボランティアを含め、15名で活動しています。

新潟の友人から、「フードバンクが佐渡にないから、活動をして欲しい。」と頼まれ始めました。私自身、5人の子供がおり、子育て中は、親、親戚、友人、地域の皆様から助けて頂き、本当に助かりました。それに比べ、現在はひとり親が増え、また核家族化が進み、以前のように「困っている」と人に伝える事が困難な時代になりました。事務局には、「もう4日も何も食べていない」と、緊急な電話が入り対応することもあります。皆様の、心からのご支援により、米どころ新潟の離島佐渡の子供たちが、普通にご飯が食べられるようにしたい。また、この活動が広まり、各々の家に余っているお米や食品が、「フードバンクさど」に届けられ、それをお配りし、ひとり親家庭や生活困窮者に繋がるような活動をしていきたいです。

引き続き、ご支援よろしくお願いいたします。



2024年
「新潟県労福協新春の集い」

日時 2024年1月5日(金)

15時30分から17時30分

場所 ANAクラウンプラザホテル 2階：芙蓉の間

新光町なう

「忙」の字は「心を亡くす」と書く。最近は何事も変わり慌ただしく、ついつい自分を失うようなこともあるが、気がつくのと周りの方々に助けられていることばかり。何気ない一声に救われることも多く心からありがたいと感じる今日この頃。私の2023年の漢字は、紛れもなく、感謝の「謝」。

みなさま、ありがとうございます♡良いお年をお迎えください。

（み）

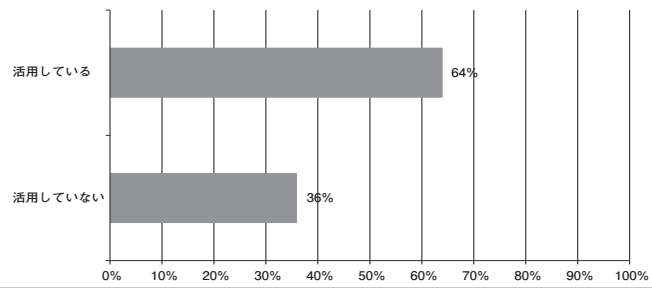
先日、友人の集まりで、それぞれの「今年の漢字」の話題になり、私は「忙」と答えた。今年というよりは、その時の心境を口にしてしまっただけだ。

11月ホームページアンケート結果発表

質問：「置き配（不在時の宅配ボックス・玄関先等への配達）を活用していますか？」

結果は、およそ3人に2人が「置き配」を活用しているとのこと。普及が進んでいることを実感できます。置き配で再配達が減り、配達員の負担軽減にもつながっていることでしょう。ほかにも「1度にもまとめて注文」することでも配送数を減らすことができますね。物流の「2024年問題」は、企業の対応が求められています。消費者にできる「ちやよとした工夫」も心がけてみましょう。

さて、12月～来年1月にかけての連合新潟HPアンケートのお題は「**医師**」についてです。ホームページからぜひご投票ください。



1頭の牛から1日にとれる牛乳の量、知っている？

新潟県・食と環境ネットワーク 体験型学習会

11月23日、新潟市アグリパークで、今年度2回目の食と環境ネットワーク体験型学習会を行いました。この学習会は牛の搾乳や餌やり、季節の野菜収穫などを行うことができる企画です。アグリパーク職員さんからのクイズを交えた「乳牛」の説明や軽妙なトークに、子どもたちは目を輝かせていました。今年の猛暑で野菜の出来が良くないとのことでしたが、収穫した野菜を両手にした大人たちも大満足。昼食には自分たちで作ったピザを食べ、小春日和の中で笑顔あふれる学習会となりました。



今回の参加者は44人。大人気
企画のため、残念ながら毎回、申し込みの半数以上の方が
抽選で外れてしまう状況が続いています。各組織でも同様の
企画を立ててみてはいかがでしょうか。「1頭の牛から
1日でとれる牛乳の量」の答えは、「200mlパック100個分」。
アグリパークでは答えを形にして見せてくれますよ。



組み合わせで安心！あなたの安全運転を支えます！

マイカー共済 +

自動車総合補償共済

ご自身の補償 (人身傷害補償)	相手への賠償 (対人賠償) (対物賠償)
¥5,000万円 【自動車事故損害賠償責任付与】	無制限 無制限

※自動車のトータルでも約12%
(24歳未満は24歳未満のマイカー共済ロードサービス付き)
 東京府では24歳未満のマイカー共済ロードサービスが24時間365日対応
 ※対人賠償・対物賠償に限り、ご加入の保険会社によって異なります。

お車の補償(車両損害補償)

一般補償

付随諸費用補償

特約

弁護士費用等補償特約

自動車賠償責任補償特約 など

自賠責共済

自動車損害賠償責任共済

自賠責共済(保険)とは、自賠法(自賠責保険についての法律)によって、道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)・原付自転車を使用する際に、加入が義務づけられている共済(保険)です。

- お支払いできる事故
被共済自動車運転中に、他人にけがをさせたり、死にさせたことにより賠償責任を負った場合に共済金を支払います。
- お支払いの内容

	死亡	最高 3,000万円
けが	最高 120万円	
後遺障害	程度に応じて4,000万円～75万円	

※特別経費(検察官検察官報酬額に相当し、傷病手当に充てられ、介護が必要な場合、療養介費4,000円以内)、慰謝料(毎月給付金3,000円以内)、一時金(24歳未満者限定)、4級以下障害年金(1級～5級内)(A級) 3,000円(年額) 1級～5級内(月額) 1,400円

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「リーフレット」に「契約のてきき(契約概要・注意事項)」をお必すご覧ください。

マイカー共済・自賠責共済あわせてのご加入をおすすめします。

「こくみん共済 coop」は、利付と返戻金の仕組みで保障の範囲として災害事業から自然災害の被害にあつた被災者の救済のための収入と支出の両方に活用することを利用して、この活動に賛同していただくことで、お金を払いながら支援するための共済生活の仕組みとなることから災害生活支援事業としてご利用いただけます。

たすけあいの力をもちまう

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「契約のてきき(契約概要・注意事項)」をお必すご覧ください。

全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済〈全労済〉

(公社)全国労働者生活協同組合連合会

新潟推進本部 (新潟県総合生活協同組合)



新潟県
**こむすび
定期**

〈ろうきん〉で「新潟県こむすび定期」を
おつけいただけます

〈ろうきん〉で
「新潟県こむすび定期」を
ご契約いただいた方に!

お金の大切さを考える絵本

「ポルコ ポルタ ポッチの
ひみつのちょきんばこ」を

もれなく **プレゼント**



対象者や手続き方法に関するお問い合わせ

 **新潟県福祉保健部子ども家庭課**

電話: 025(280)5218

金利や絵本に関するお問い合わせ

 **新潟ろうきん 新潟県労働金庫**

新潟ろうきん 